



Additional Injector Driver



取扱説明書

E84770-K00010-00
2024.07発行
Ver. 3-1.01

1. はじめに

この度は、Power Editor R Additional Injector Driver をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及び、使用する前に本書をお読みください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付車両を基準に開発されております。以上の車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、お買い上げの販売店にお問合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・車両型式・エンジン型式を注文先にお伝えください。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、DC12Vマイナスアースの車両のみに使用可能です。
- 本製品の仕様は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

商品名	Power Editor R Additional Injector Driver
コードNo.	42999-AK018
用途	追加インジェクタ(高抵抗型)の駆動
使用可能車種	追加インジェクタ(高抵抗型)取付車両

2. 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合。

注意 作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損)
拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害[例えば車両の破損及び焼損])

警告

- 換気の良い場所で作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業すると、爆発及び火災の原因となります。
- コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。
ショートなどによる火災、及び電装品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭などの異変があった場合には本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 作業は、車両を駐車しておける場所で行ってください。

注意

- 本製品の取付けは必ず専門業者に依頼してください。
専門外の方が作業されると、火傷やけがなどを負う恐れがあります。
- 本製品の加工・分解・改造などの誤使用及び修理は絶対に行わないでください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 高温になる場所・水などがかかりやすい場所・湿気やほこりの多い場所を避けて取付けてください。
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 故障などの修理はお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動などの異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- 本製品にはブーストアップデートが入っていません。
車両毎に現車セッティングを行ってください。
- コネクタを抜き差しする際は、必ずコネクタを持って行ってください。
ケーブルを引っ張ってしまうと断線の恐れがあります。
- 車両の修理や車検の際は、本製品を外してから、車両を業者に引き渡してください。
- 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。

3. 本製品の特徴

- ・ Power Editor R のオプションパーツで、追加インジェクタを駆動することができます。
- ・ 同梱の追加ハーネスを使用することで、追加インジェクタを2本駆動することができます。

※ 追加インジェクタは「高抵抗型」をご使用ください。

※ 本製品を使用するためには Power Editor R 本体のファームウェアバージョンが「PER_FW.002」以降である必要があります。

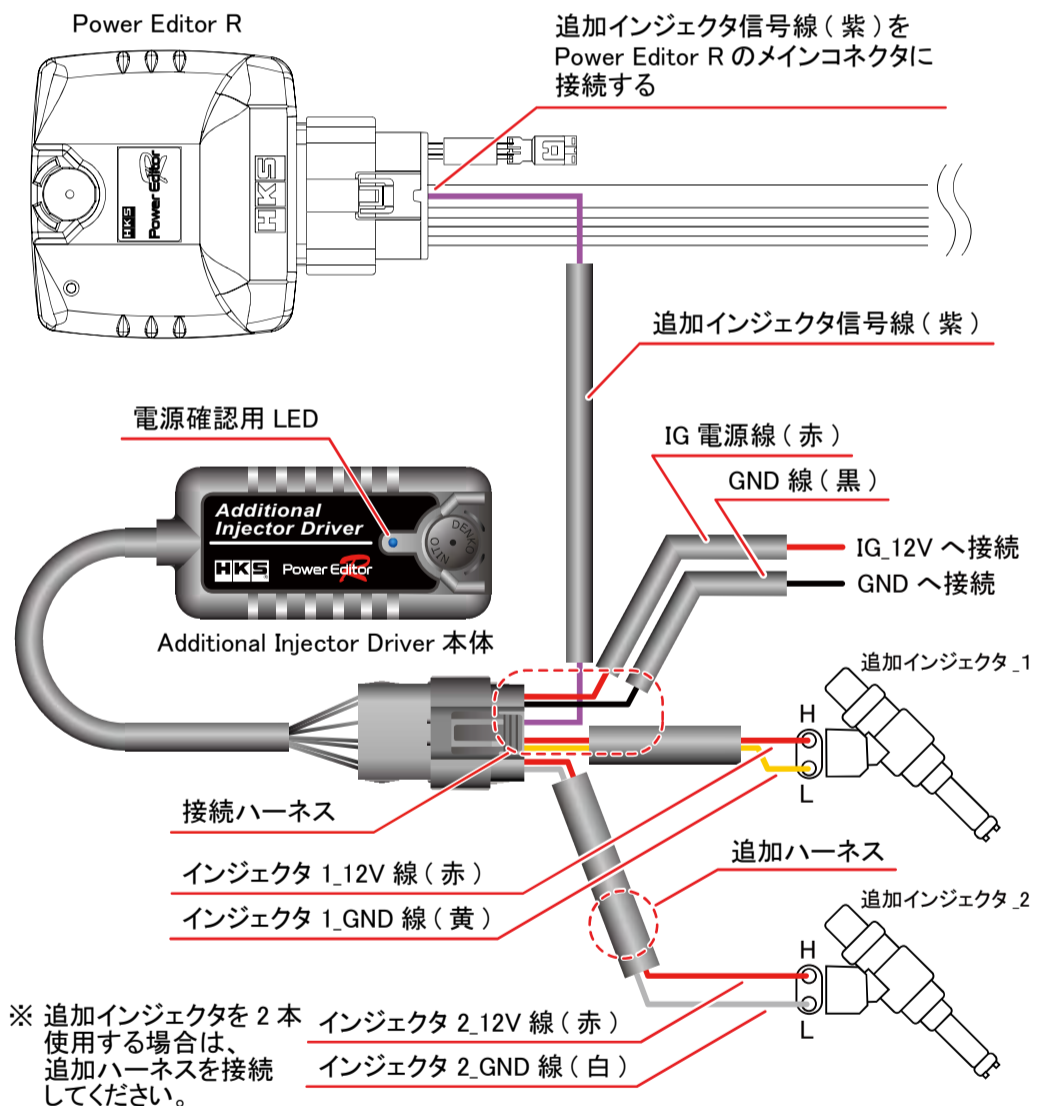
お手持ちの Power Editor R のファームウェアバージョンが「PER_FW.001」だった場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※ 初期リリース版の Easy Writer [Ver.2.3.6.6] は本製品に対応していませんので、HKS ホームページ (<https://www.hks-power.co.jp/index.html>) より最新バージョンをダウンロードしてご使用ください。

4. パーツリスト

1	Additional Injector Driver 本体	1ヶ
2	接続ハーネス	1ヶ
3	追加ハーネス	1ヶ
4	リテーナー外し用ツール	1ヶ
5	タイラップ(小)	5ヶ
6	タイラップ(中)	5ヶ
7	タイラップ(大)	2ヶ
8	タイラップ(特大)	2ヶ
9	スプライス	5ヶ
10	熱収縮チューブ	5ヶ
11	両面テープ	2ヶ
12	取扱説明書(日・英)	各1部

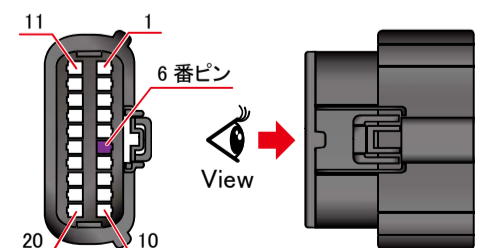
5. Additional Injector Driver 配線図



6. Power Editor Rとの接続

- ・ 本製品に同梱の接続ハーネスの追加インジェクタ信号線(紫)を、Power Editor R コネクタの6番ピン(追加インジェクタ信号)に接続します。

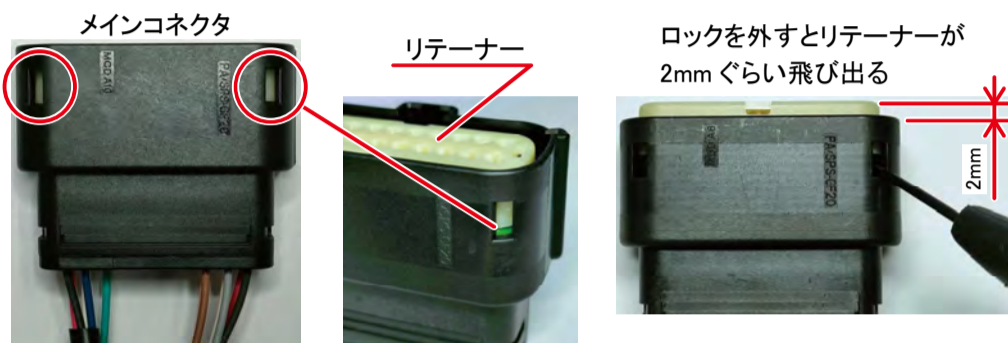
※ Power Editor R の6番ピンには防水栓が挿さっています。
防水栓を取外し、追加インジェクタ信号線を接続してください。



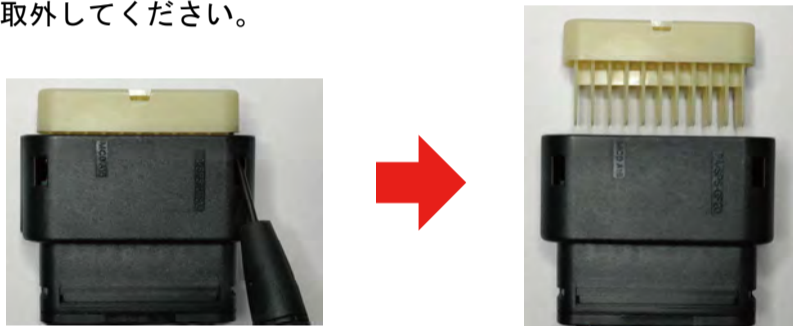
Power Editor R コネクタのピン配置

Pin	機能	Pin	機能
1	電源 (センサ 5V)	11	GND
2	電圧入力 (1ch)	12	電圧出力 (1ch)
3	電圧入力 (2ch)	13	電圧出力 (2ch)
4	電圧入力 (3ch)	14	電圧出力 (3ch)
5	電圧入力 (4ch)	15	電圧出力 (4ch)
6	追加インジェクタ信号 (防水栓)	16	— (防水栓)
7	エアフロパルス入力	17	エアフロパルス出力
8	回転信号入力	18	車速信号入力
9	USB D-	19	USB D+
10	USB 5V	20	USB GND

- ① Power Editor R のメインコネクタにはまっているリテーナーのロックを外す。
 ・精密ドライバ (-) でリテーナーを持ち上げるようにしてロックを外してください。
 ※ 精密ドライバを 2 本使用し、左右同時に持ち上げるとロックを外し易くなります。



- ② リテーナーを取外す。
 ・リテーナーを更に持ち上げるようにしてロックを外し、リテーナーを完全に取外してください。



- ③ 6 番ピンの防水栓を取外す。
 ・6 番ピンに挿さった防水栓を精密ドライバで押しながら、ロックのツメを外して防水栓を取外してください。



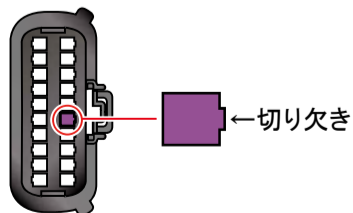
※ 精密ドライバ (-) を回転させ、防水栓とロックのツメを引き離すようにすると外し易くなります。

- ④ リテーナーを元の様にはめ込み、2mm ぐらい飛び出した状態にする。



- ⑤ 防水栓を外した 6 番ピンに、接続ハーネスの追加インジェクタ信号線 (紫) の端子を挿し込む。

・コネクタ穴の切り欠きと追加インジェクタ信号線の端子の出っ張りの向きを合わせ、「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。



※ 一度奥まで挿込むとコネクタ内部でロックが掛かり抜けなくなります。十分注意して作業してください。再度抜く場合はリテーナーを完全に取外してからコネクタ内部のロックを外す必要があります。

- ⑥ リテーナーを元の位置まで押し込み、ロック状態にする。

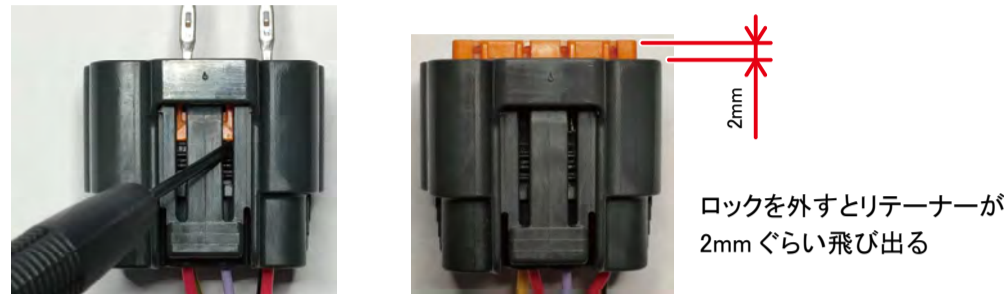
7. 追加インジェクタを2本使用する場合

追加インジェクタを 2 本使用する場合は、接続ハーネスに追加ハーネスを接続してご使用ください。

- ① 接続ハーネスのコネクタにはまっているリテーナーのロックを外す。
 ・下図の赤枠部分に挿さっている端子とリテーナーの隙間に、同梱のリテーナー外し用ツールを斜めに挿し込むことでリテーナーのロックが緩みます。

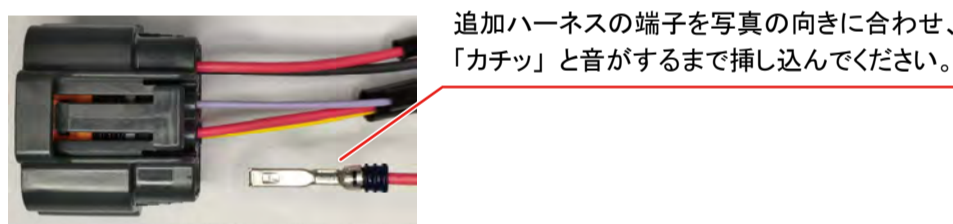
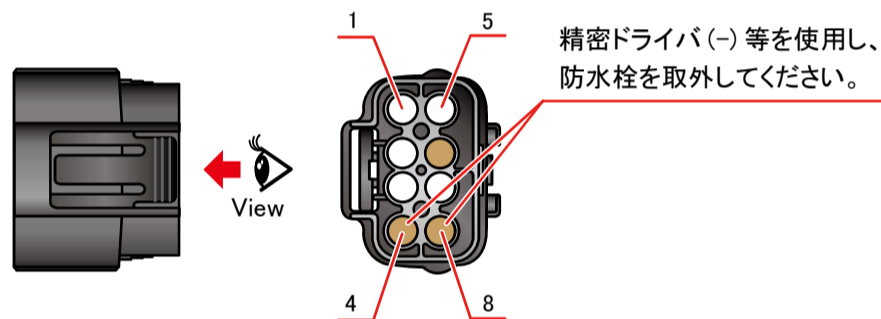


- ・精密ドライバ (-) でリテーナーを持ち上げるようにしてロックを外してください。



- ② コネクタの Pin4、Pin8 から防水栓を取外し、追加ハーネスの端子を挿し込む。
 Additional Injector Driver コネクタのピン配置

Pin	機能	線色	Pin	機能	線色
1	IG 電源 (12V)	赤	5	GND	黒
2	追加インジェクタ信号	紫	6	— (防水栓)	—
3	インジェクタ 1_12V	赤	7	インジェクタ 1_GND	黄
4	インジェクタ 2_12V	赤	8	インジェクタ 2_GND	白



- ③ リテーナーを元の位置まで押し込み、ロック状態にする。

8. 取付手順

- ① 車両のエンジンを切り、10 分以上放置した後バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外す。
 ※ 車両により 10 分では放置時間が足りずエラーが入る場合があります。適宜放置時間を設けてください。
- ② Additional Injector Driver 本体を任意の場所に設置・固定する。
 ※ エンジン本体などの高温になる場所や、直接水が掛かる場所を避けて設置してください。
 ※ 両面テープで固定する場合は貼付け面の汚れを落とし、よく脱脂してから貼付け、タイラップを併用し固定してください。
 両面テープだけで固定すると、経年劣化などで剥がれた場合危険です。
- ③ 接続ハーネスの IG 電源線 (赤) と GND 線 (黒) を車両に接続する。
 ※ 車両側の接続先は IG 電源・GND 共に、追加インジェクタ 1 本当たり 2A 流せる所へ接続してください。
 ※ 電源は必ず IG 電源に接続してください。
 常時電源に接続するとバッテリー上がりの原因になります。
- ④ 接続ハーネスの追加インジェクタ信号線 (紫) を Power Editor R のコネクタに接続する (6. Power Editor R との接続を参照)。
- ⑤ 接続ハーネスのインジェクタ 1_12V 線 (赤) とインジェクタ 1_GND 線 (黄) に、追加インジェクタを接続する。
 ※ 追加するインジェクタは高抵抗型をご使用ください。
- ⑥ 各ハーネスを走行に支障をきたさないよう同梱のタイラップで固定する。
 ※ ハーネスの取回しは、エンジン本体など高温になる場所を避けてください。
- ⑦ 全ての配線が正しく接続できていることを確認後、バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを取付ける。

9. マップデータの書き込み

- Power Editor Rの接続ハーネスに、Power Editor RIと同梱のUSBハーネスを取付けパソコンと接続する。
 - 「Easy Writer for Power Editor R」を使用してマップデータを書込む。
- ※ 初期リリース版の Easy Writer [Ver.2.3.6.6] は本製品に対応していませんので、HKS ホームページより最新バージョンをダウンロードしてご使用ください。

10. 故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合は、故障と判断する前に下記の症状と照らし合わせて配線等の確認をしてください。
 チェックランプが点灯するなどの異常が発生した際は、Power Editor R本体を取外しPower Editor RIと同梱の復帰コネクタを取付けてください。

症状	原因	対応
IGをONにしてもAdditional Injector Driver本体の電源確認用LEDが点灯しない	接続ハーネスのIG電源線またはGND線が正しく配線されていない	正しく配線し直す
復帰コネクタを使用した状態でもチェックランプが点灯する	ハーネスが断線している 又は配線の接続部分が接触不良を起こしている	断線部分や接触不良部分を修正する
	コネクタが抜けかけている	各コネクタのロックが掛かる状態までしっかり差し直す
Power Editor Rを接続している時だけチェックランプが点灯する 又はブーストが上がらない	Power Editor R本体が故障している	Power Editor Rの検査を依頼する (お買い上げの販売店まで) お問い合わせください
	書込んだセッティングデータが車両に合っていない	再度現車セッティングを行う
Power Editor R本体のLEDが点滅している	セッティングデータを書込んだ際、正常に書き込みが完了しなかった	Easy Writer for Power Editor Rを使用し、再度データを書込む

11. 異常・故障時の対応

⚠ 警告

●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
 そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

⚠ 注意

●故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
 ●走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、「保証登録」完了後、お買い上げの販売店にシリアルNo.をお伝えの上、修理を依頼してください。詳しくは「16.保証について」をご覧ください。

12. アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせ、及び紛失部品等の購入、保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意等により修理が必要となった場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

13. 本製品の仕様

- 動作保証電圧 DC10~16[V]
- 動作可能温度 -20~100[°C]
- 外形寸法 106×48×16.5[mm]

14. 用語の説明

- 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
 コードNo. : HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。
 ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
 点検・整備 : 安全に運転するために、本製品及び自動車全体の機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。
 日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従ってください。
 高温になる場所 : 温度上昇の高いところ。
 例、エンジン本体や排気系部品の近傍。
 誤使用 : 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。

15. 改訂の記録

Ver.	年 / 月	記載変更内容
3-1.01	2024/7	初版